



会報

発行者

青葉区ねことの暮らしを考える協議会

第14号

協議会事務局

PHS:080-3497-2049・045-961-2513

会長 井本史夫

平成21年9月9日発行

活動レポート (H21春夏)

第8回「定期総会開催」(6月9日)

会員、来賓の方々に列席していただき、総会を開催いたしました。20年度の行事・決算報告と21年度の予算案承諾など、例年通りの議事に加えて、役員の変更も承認されました。

今期 新役員 (平成21年度～)

会長	: 井本 史夫	井本動物病院 院長
事務局長	: 川崎 康宏	ピュア動物病院 院長
会計理事	: 堀川 智生	ベルジェ藤が丘動物病院 院長
理事	: 太田 成江	神奈川捨猫防止会
理事	: 三橋 米子	かながわ野生動物サポート ネットワーク会員
理事	: 加藤 賢郎	青葉区保健活動推進委員会 会長
理事	: 日向 千絵	ニュータウン動物愛護会
理事	: 小林 尚子	神奈川捨猫防止会
理事	: 山下理恵子	新荏田ねこ連絡会 代表
理事	: 長澤 恵子	神奈川捨猫防止会
理事	: 井上満知子	キャットメイト
理事	: 斉藤 正美	キャットメイト
監査	: 土志田聖二	青葉区保健活動推進委員会 副会長
顧問	: 辻本 愛子	青葉福祉保健センター長
顧問	: 山田 康裕	青葉区獣医師会 会長
参与	: 森田 昌弘	青葉区福祉保健センター 生活衛生課長

ニュータウン動物愛護会 (動物譲渡会)



動物を飼いたい方と譲りたい方の広場として始まったこの会も、早いもので11年を迎えます。人と動物がより良い関係で幸せに暮らしていくお手伝いできればと、スタッフ一同頑張っております。その主旨から参加希望・譲渡希望にはそれぞれ条件がありますが、詳細はお問い合わせください。

主な参加動物は猫ですが、犬・ウサギ・フェレット・ハムスター・カメなどが参加していることもあります。

その他、ノラ猫の不妊手術のご相談、飼育相談にも応じております。

広場はたくさんの方で賑わっていますので、お近くを通られる際にはぜひお立ち寄りください。

会場

- センター南駅前スキップ広場 毎週日曜日
- センター北駅前広場 毎月第2土曜日

時間は共に午後1時～日没まで。
雨天中止

参加のご相談やお問い合わせは
080-1097-0420
日向千絵 まで

区民祭り 健康フェスティバル



11月3日(文化の日)に開催されるので今年も参加します。

詳しくは広報青葉10月号にてお知らせします。

- 協議会オリジナルグッズ販売
- 手作りポップコーン
- バルーンアート
- 猫ちゃんと写真を撮ろうコーナー などなど



商品の売り上げは全て不幸な猫を増やさないための活動資金(不妊・去勢手術など)にあてられます。

人と猫のより良い かかわりあいをめざし語り合う会

猫好きも 猫嫌いも



(パネルディスカッション)を行いました。

3月11日 区役所会議室にて

司会：井本史夫 井本動物病院院長

パネリスト

堀川 智生：ベルジェ藤が丘動物病院院長
DVMs 動物病院グループ
動物2次診療センター長

太田 成江：神奈川捨猫防止会

山下理恵子：新荏田ねこ連絡会

川崎 康宏：ピュア動物病院院長

日向 千恵：ニュータウン動物愛護会

ディスカッションの前に

動物2次診療センター横浜夜間動物病院の説明がありました。



堀川

昼間は高度医療、
夜間は救急医療を提供してく
れる病院が都筑区にあること
をご存知ですか？

動物2次診療センターは、最新の高度医療（CTセンターも併設）を身近に利用することができ、夜間病院が稼働していない昼間の時間、各分野の専門医を招聘して診療を行っています。受診されるには、かかりつけの病院を通じて予約が必要です。詳しくはかかりつけの動物病院にご相談ください。

夜間ペットを見て「いつもと様子が違う！」夜間動物病院を利用の際にはまずお電話を。うしろ足が麻痺した猫ちゃんが来院し、飼主は足の病気だと思っていたのですが、実は心筋症だったことがわかり、一命をとりとめた、ということもありました。

横浜夜間動物病院

TEL 045-473-1289

21:00 ~ 翌朝 7:00 (年中無休)

動物2次診療センター

<http://www.yokohama-dvms.com/sp/index.html>

横浜夜間動物病院

<http://www.yokohamayakan.com>



太田

外猫にエサを与えるようになったある女性がいました。「ノラ猫が増えるからエサを与えるな。」と言われ、まだ若く気弱な彼女は困ってしまいました。しかし、後に不妊手術済だったことがわかり、エサやりを続けることができるようになり一安心。

不妊手術を受けさせたら、手術済であることを地域の人々に知らせる事が大切です。

(当協議会ではご近所へのお知らせのチラシを用意しています。必要な方は事務局まで。)

環境省が初めて右のようなポスターを作成しました。猫を捨てようとする人を見たら声をかけましょう。虐待かな？と思ったら声をあげましょう。

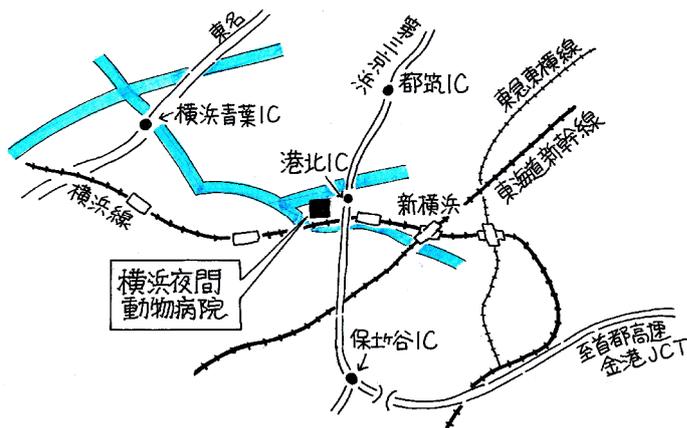
青葉区は

行政・獣医師・民間

の協力により、『行政による猫の引き取り頭数』の少ない区の一つです。平成元年から不妊手術の助成金制度が始まり、毎年引き取り頭数は右肩下がりで減っています。世の中の意識を動かすには長い時間がかかるかもしれませんが、

私達ひとりひとりの声は何よりの原動力なのです。

発信の熱意があれば成果はできます。





「外猫に不妊手術を受けさせたいが、さわれないから出来ない」という相談をよく受けます。

山下

どんな猫でも捕獲できます！

(ただし、いつもあげているエサより魅力的なものを仕掛けるなどのテクニックは必要です。) 猫の爪や歯はとても鋭いので、捕獲は素手や網では危険。

捕獲器を使うのが人にとっても猫にとっても一番安全です。

遺棄・虐待を避けるため、捕獲器は愛護団体などが保管しています。当協議会にご相談ください。直接指導、又は捕獲の手伝いをします。



当協議会で不妊・去勢手術を行った外猫にはマイクロチップを施術しますが、手術済であることが離れたところからも識別できるよう、リリースする前に「手術済のしるし」をつけることが大切です。

川崎

①ビーズのピアスをつける ②耳カット

などが主な方法です。

①は脱落したり、化膿する場合もあることから②が総合的に見て外猫には適しています。

海外でもこの方法が多く行われています。デメリットとしては、ケンカによる耳の破損と見分けがつかない場合があることです。

Cは技術的に行えない病院もあります。



どんな形のカットにするか、雄と雌では左右どちらの耳にするか現在ではまだ統一されておらず地域により個人的に決めています。

大好評 当協議会オリジナルグッズ・手作りトールペイント小物などの販売をしています。

- ・猫に関する日頃の悩みなど、ざっくばらんにおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしましょう。
- ・キャットメイト以外の方もご参加いただけます。皆様お誘い合わせのうえお気軽にご参加下さい。
- ・ご都合のつく短時間の参加でもオーケーです。
- ・手作りの好きな方は、トールペイント、缶バッジ作りなどにもチャレンジしてみませんか？誰にでも簡単にできます。



猫を捨てても、「きっと優しい人が拾ってくれるだろう」

日向

「外でたくましく生きていこう」などと人間は自分に都合良く考えがちですが、捨てられた猫が優しい人に拾われるケースはめったにありません。生きのびられないケースが殆どです。

先日、飼い猫だったと思われる猫が3匹捨てられていました。

発見時3匹は1歩も動けずにいました。獣医師によると、恐怖で腰がぬけている状態との事。

彼らは運良く貰い手が決まりましたが、

「捨てられた猫は生きていけない」

と思うべきです。ボランティアが捨猫を保護するにも限界があります。

今日会場にいらした方々は、ぜひこの事実をまわりの方々に伝えていただきたい。捨てて自分のまわりにはいなくなっても、捨てられた所では猫は苦しみ、誰かが必ず被害をこうむるのです。

捨てる行為(遺棄)は犯罪です。

猫は多産です。不幸の連鎖を生じさせないために、とにかく早めに不妊・去勢手術を徹底させたいものです。



井本

世の中は、長い地道な活動の積み重ねで除々に進歩していくのです。当協議会の活動も同様です。この活動は一人ではできません。団体だけでもできません。

行政 獣医師 民間が一体となり個人と団体が協力し合いより良い環境になるよう努力していきましょう。

毎月第2水曜日は楽しい

キャットメイト交流会

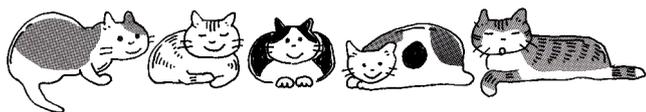
時間：午前 11:00～午後 4:30

場所：青葉区役所ロビー売店横(102会議室)

当協議会は横浜市より、「青葉区役所と協働事業等をつなぐりのある団体である。」と指定され、売上金のすべてを不幸な猫を増やさないための活動資金(避妊・去勢手術など)にあてることを条件として、区役所102会議室にて商品の販売を行っています。

お問い合わせ 協議会事務局 電話：080-3497-2049
青葉福祉保健センター生活衛生課
電話：978-2463~4

ねこのようちえん



新荏田ねこ連絡会代表 山下 理恵子

「ねこのようちえん」では会員さん、里親さんなどが猫を保護しても、諸事情で自宅では飼えない猫たちを一時的に保護しています。この時期はかなりの数の保護猫がやって来ます。

会員さんの中でこのような活動をしている方はお知らせください。一緒にがんばりましょう!

20年度

保護した頭数	51
貰われた頭数	41

ねこのようちえんにて

『保護猫一時預かり』のボランティアさんを募集しています。

子猫を拾ったら

まず自分で飼えるのか、よく考えてください。

無理ならば全力で貰い手を探す覚悟で保護しましょう。

まだキャットフードを食べることのできない乳飲み子にはミルク（小動物用哺乳ビンにて）を与えますが、牛乳は人間用なので絶対に与えてはいけません。

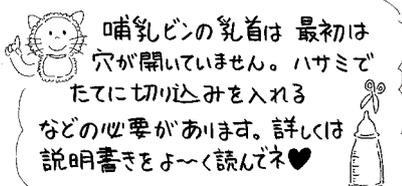
『猫用』と表記されていても、紙パックや缶入りのミルクは成猫用なので、これも与えてはいけません。下痢をしてしまいます。

必ず子猫専用ミルクを与えてください。

始めは哺乳ビンで上手に飲めない場合もありますが、諦めず根気よく行って下さい。

授乳後は毎回ティッシュやコットンで、お尻をトントン軽くたたいて排泄を促すことも忘れずに行ってください。

目やにでまぶたが開かなかったり、クシャミをしていたり、熱がある時は症状



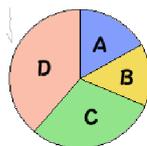
が悪化する前に、動物病院を受診してください。又外見には問題がないと思われても一度は健康チェックを受けましょう。育て方や貰い手探しの注意点などの情報も得られるでしょう。

わからないことがあれば、何でも当協議会にご相談ください。

平成20年度収支決算

収入の部

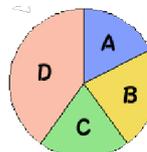
平成20年5月～平成21年4月



- A 16.8% 会費（一般、賛助）
- B 14.5% 獣医師会（マイクロチップ、補助金）
- C 29.9% 寄付、募金
- D 38.8% 物品販売等 雑収入

科目	予算額	決算額
前年度繰越金	370,504	370,504
一般会員会費	175,000	250,000
賛助会員会費	50,000	20,000
獣医師会会費	168,000	162,000
寄付金	5,000	258,250
募金	120,000	222,089
補助金	47,250	69,750
雑収入	50,000	254,390
収入計	985,754	1,606,983

支出の部



- A 17.6% 事務、通信
- B 22.5% 会報等広報活動
- C 19.7% 講演会等適正飼育啓発
- D 40.2% 手術、助成金

科目	予算額	決算額
事務用品費	30,000	24,146
通信費	85,000	96,134
不妊去勢事業	400,000	275,250
適正飼育啓発事業	250,000	135,000
広報事業	100,000	154,523
新しい飼い主探し事業	20,000	0
会議費	20,000	0
予備費	80,754	0
支出計	985,754	685,053

なぜ猫を捨てるのか？

- ・まだ子猫だと思っていたのに子供を産んだ
- ・病気ばかりしてお金が続かない
- ・家族のアレルギーがひどくなった
- ・だんだんいうことを聞かなくなった
- ・猫のことで近所から苦情がきた
- ・親が猫嫌いなのに子供が猫を拾ってきた
- ・不妊手術が間に合わなくて産んでしまった
- ・庭に来た猫に可哀想で餌をやっていたら出産してしまった
- ・引っ越し先がペット禁止なので
- ・飼い主が病気で飼えなくなった
- ・尿をまき散らしたり、大声で鳴く

などなど、数限りない理由で猫が捨てられています。これらの要因を切り抜けて猫を末永く飼っていくためには、まずは猫をよく知ることが大切です。困ったことが起こる前に、当協議会・獣医師・自治体の動物行政担当者などに是非相談しましょう。

捨猫・捨犬という言葉が無くなる日を目指し、正しい知識を発信していきましょう。